



おがわ

学校だより
臨時号
2025年3月7日
町田市立小川小学校
校長 星 彰

2025年度（令和7年度）に向けて

今年度も終わりが迫ってまいりました。今年度の教育活動を振り返るとともに、新年度の方向性について、お伝えします。まずは、1月に実施した「教育活動についてのアンケート調査」の集計結果をご報告し、続いて、考察及び新年度の方向性について記載いたします。

2024年度 保護者対象 教育活動についてのアンケート調査 集計結果【町田市共通項目】

- ・実施期間：2025.12.2(月)～2025.12.13(金)
- ・回答数：285人（児童数409名 家庭数ではなく児童数での回答を依頼 回答率69.7%）
- ・回答方法：4件法

A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない
E わからない・無回答・その他



ご記載いただいた意見（一部）

- 学校がオープンであり、相談や意見を言いやすい雰囲気がある。
- ホームページが見やすく、子どもたちの日々の様子を知ることができるので、とてもありがたい。
- 6年生によく声をかけてもらっていて、本人も遊んだことや手伝ってくれたことなど、よく話してくれている。
- 挨拶については、学校での指導が、日常生活でも活かされている。
- 学校生活は楽しめているようですが、宿題をやり忘れることが多いので、そこを直せるようにしていきたい。
- Web上には、子どもの年齢にふさわしくない情報があふれている。情報に踊らされない成長を、今後期待したい。

集計結果を受けての考察 新年度の方向性

社会に開かれた教育課程の実現

- 「情報発信」「教育活動の公開」について、肯定的な回答が昨年度から約 10%向上しました。今後も、学校の方針や、児童の様子がより一層伝わる工夫を考えてまいります。
- 「地域人材の活用」の肯定的評価は82%でした。多くの地域人材にご協力いただいたおかげです。なお、保護者の皆様も「地域人材」に含まれております。今後はさらに、様々な教育活動場面で幅広くお声掛けをさせていただこうと計画しております。ともに、児童の学びをより豊かにしていけたらと思いますので、ご協力ください。

「確かな学力の育成」

- 「基礎・基本の定着」の肯定的回答は90%と高い一方で、「宿題・家庭学習への取組」の肯定的回答は70%でした。「宿題・家庭学習」について、中学年以上では、自分で 1~2 週間分の計画を立て、見通しをもって取り組む力を高めようと試みてきましたが、まだ十分とは言えません。児童への支援はもちろん、保護者の皆様との連携をより一層深め、改善を図ってまいります。
- 「読書への取組」の肯定的回答は 45%でした。読書月間、図書委員会による活動、友達と読んだ本を共有し合える環境「Ogabunko」等を通して、読書への興味・関心を高めるよう努めましたが、改善の余地があります。児童が youtube やショート動画の誘惑に捕らわれず、読書に魅力を見出せるような取組を模索してまいります。
- 「ICT の活用」の肯定的回答は 88%でした。全学年、タイピングや Qubena に毎日のように取組み、基礎学力の定着を図りました。加えて中学年以上は、Canva を活用し、表現力を大きく高めることができました。加えて、Duolingo(英語)、Kahoot!(算数等)といった様々な Web アプリの活用も進み、学習習慣の定着や協働的な学びの充実にもつなげられたと考えております。現在、優れた教育アプリが次々と開発されています。今後も引き続きアンテナを高くしながら、児童の学力向上に有効な ICT 活用の在り方を模索し続けます。

「豊かな心の涵養」

- 「あいさつ」の肯定的評価は 81%でした。あいさつ運動や「ふれあい月間」における取組の成果が表れつつあると捉えています。学校運営協議会においても、「気持ちのよいあいさつが増えた」と評価していただいております。今後も、児童が誰とでも気持ちよくあいさつを交わせるよう、指導を工夫してまいります。
- 「いじめ・人権感覚」の肯定的評価は 80%でした。町田市教育委員会からは月1回の実施を指示されている「いじめ対応チーム(学校いじめ対策委員会)」を、本校では週1回の頻度で実施しており、問題の早期発見・対応につなげるよう努めてまいりました。今後も本取組を継続し、より一層、児童が安心して通える学校にしていまいります。
- 「ネットマナー」の肯定的評価は 60%であり、課題として受け止めております。今年度は、「道徳授業地区公開講座」にて、小川高校との連携を図り、4~6 年生に SNS の使い方についての指導を行いました。これからも、児童を取り巻くネット環境の変化に迅速に対応できるよう、情報収集を進めるとともに、地域や保護者の皆様とも連携を図りながら、児童のネットマナーの向上を図ってまいります。

「健やかな体の育成」

- 「運動・スポーツ」の肯定的評価は69%であり、改善が必要です。児童アンケート「体を動かすことが楽しい」は高ポイントであることを生かし、「運動の日常化」につなげていきます。教員が率先して、休み時間に校庭に出て児童と遊んだり、縦割り班での外遊びを充実させたりして、体を動かす心地よさや楽しさを実感できるような取組を工夫してまいります。
- 「食習慣・生活習慣」の肯定的評価は 78%であり、一定の評価はいただいたものの、十分な取組はできていないとも考えております。毎日の給食指導や、生活習慣に関する指導について、新たな取組を模索してまいります。

「小・中学校の連携、校内の整備等」

- 「他校(中学校)と連携した取組」の肯定的評価は 53%と、昨年度よりは高くなっているものの十分とは言えない結果でした。教員同士の交流は進んでいるものの、中学校生徒と小学校児童とが連携した取組は多くないため、学校評価でも回答しにくい項目ではなかったかと思われます。具体的な連携について情報発信する工夫を考えてまいります。
- 「校内整備・校内美化」の肯定的評価は 87%でした。教職員による校内の安全点検、環境整備や、用務員の働きについても評価していただけたものと考えております。今後は、児童の清掃指導について改善を図ってまいります。